

『CONNEX 能力構築・透明性向上国際会合』
羽田政府代表による冒頭挨拶
(平成 28 年 9 月 15 日 (木曜日) 9 時 30 分～
9 時 40 分, 於: JICA 市ヶ谷ビル)

1. 冒頭挨拶, 開会宣言

各国の大使閣下,

ほほのぶひと

粗信仁政策研究大学院大学政策研究院次長, 及びギュンター・ノーケ・ドイツ・

アフリカ問題首脳個人代表を始めとするパネリストの皆様,

ご列席の皆様,

- 『CONNEX^{コネックス}能力構築・透明性向上国際会合』への皆様のご参加を心より歓迎致します。
- 本日は, 国内外から採取産業に関係する様々な御知見を持った方々をパネリスト或いはモデレーターとしてお招きしております。ご出席の皆様のご協力に深く御礼申し上げます。

2. CONNEXイニシアティブとは

- 昨今の一次産品価格の下落によって, 天然資源を有する開発途上国は, 成長が伸び悩み, 貧困などの様々な困難に直面しています。これらの国々が困難を克服するためには, 自国の天然資源から公正に開発収入を得て持続可能な成長を果たす必要がありますが, そのためには開発契約が適正に締結されることが重要です。この契約が適正に行われるよう交渉能力の向上のための支

援を行い、途上国の自立を促すことを目的とするのがコネックスイニシアティブと呼ばれているもので、2014年のG7ブリュッセル・サミットにおいて発足いたしました。

3. G7伊勢志摩サミットにおけるCONNEXイニシアティブの成果

- 我が国は5月のG7伊勢志摩サミットの議長国を務めました。CONNEXイニシアティブについては、長期的視野から、資源国関係者の能力の構築支援やガバナンスなどの透明性向上に焦点を当て、持続可能な開発に資するためのガイドラインとして「CONNEX持続可能な開発に向けた基本指針」を策定し、同サミットの成果文書として盛り込みました。
- また、本年は、昨年、国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の実施元年にあたります。G7として策定したこの基本指針が、資源国開発のための国内資源の効果的な活用に関わり、2030アジェンダ達成に向け重要な役割を担うと確信しています。

4. CONNEXイニシアティブの将来ビジョン

- CONNEXイニシアティブはその土台が作られたところです。今後は、既存の支援機関との連携を強化し、CONNEXの理念を具体的な支援活動の一環として広く関係者に浸透させる点が課題となります。

- そのためには、採取産業を取り巻く情勢を客観的に観察し、発展途上にある資源国のニーズを正確に読み取り、CONNEXイニシアティブと、例えばイーアイティーアイ E I T I と呼ばれる「採取産業透明性イニシアティブ」などの既存の支援活動との密な連携と協力の深化が重要です。
- 本日の会合は、そのための議論の出発点となります。本会合では、これまでのCONNEXの活動の総括のみならず、既に資源国への支援に関し成果を挙げている様々な関係者の活動を振り返り、今後の効果的な支援のあり方について忌憚のない意見交換を行うとともに、能力構築を中心とした今後のビジョンの確立に向けて関連するステークホルダーの皆様と連携を強化します。
- 関連するステークホルダーの皆様におかれては、先進国、資源国、開発支援機関、国際企業など様々な立場から知見・経験の共有を頂きますが、より重要なことは、開発で得られた利益が持続可能な状態で国の発展に広く貢献していくことです。持続可能な形で全てのステークホルダーの間でウィンウィンの関係が確立していけば、グローバルな市場メカニズムの発展につながり透明性の確保の面でも良い影響がもたらされ、我が国を含むエネルギー資源の輸入国にとっても大きな意義が生まれることを期待します。

5. 結語

●この二日間の会合が、来年のイタリア議長下のG7サミットにおけるCON
NEXイニシアティブのさらなる発展につながり、実り多い機会となること
を祈念し、また、この会合の開催にご協力いただいたJICAの皆様に御礼
を申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。